

成績概要書（2009 年 1 月作成）

研究課題：露地直播栽培えだまめの品種特性

（にんじん、えだまめの品種特性、

力強い野菜産地づくり推進事業、道産野菜シェア奪還緊急対策事業）

担当部署：十勝農試 作物研究部 畑作園芸科

協力分担：農政部食の安全推進局農産振興課、地域農業技術センター等

予算区分：受託（民間）、道費（農政部事業・力強い、シェア奪還）

研究期間：2007～2008 年度（平成 19～20 年度）

1. 目的

えだまめの民間育成品種等について、早晩性や収量性、品質等の品種特性を調査し産地における品種選択の際の資料とする。

2. 方法

1) 試験場所、播種期および供試品種数（表 1 参照）

2) 耕種概要（十勝農試）

試験年次：平成 19 年と 20 年

栽植様式：株間 60 cm×株間 20 cm×株立 2 本（栽植密度 8,333 株／10a）

作 型：露地直播栽培（マルチ等の被覆なし）、試験配置：乱塊法 2 反復

施肥量：N-2.1, P₂O₅-17.5, K₂O-9.1, MgO-3.5 (kg/10a)、前作：えん麦

3. 成果の概要

- 1) 民間育成品種を中心とするえだまめ 20 品種について、十勝・網走・北見・釧路および空知北部地域での露地直播栽培における生育および収量等の品種特性を明らかにした。
- 2) 供試品種を枝豆適期により早生から極晩生の 6 群に分類した。
- 3) 早・早中群では、標準の「サッポロミドリ」並の早生、耐倒伏性と規格内収量に優れた品種はなかった。「涼翠」および「黒玉すだれ」で規格内収量および規格内百莢重が優れたが、いずれも枝豆適期が 5～8 日遅く、耐倒伏性あるいは極短茎で草姿が劣った。
- 4) 中・中晩群では、「酒の友」が標準の「大袖の舞」並の枝豆適期で、最下着莢位置が高く規格内収量および百莢重に優れた。「ASB-03」と「サヤコマチ」は、「大袖の舞」とほぼ同じ枝豆適期で、最下着莢位置が高く規格内収量が標準品種並であり規格内百莢重が重くバランスにやや優れた。「三芳錦」は、「大袖の舞」より枝豆適期が 4 日遅いが、最下着莢位置が高く、規格内収量が同品種よりかなり多く、さらに百莢重に優れた。
- 5) 晩・極晩群では、標準品種の「いわいくろ」並の枝豆適期で、耐倒伏性と規格内収量に優れた品種はなかった。規格内百莢重については「タマフクラ」が供試品種中最も重く特徴的であった。
- 6) 食味総合評価は、ブランチング直後品では「湯あがり娘」と「恋姫」、農試冷凍保存品では「湯あがり娘」「恋姫」「茶香り」および「サヤコマチ」が安定して高い傾向にあった。
- 7) 地域農業センター等の試験では、普通大豆の「栄錦」「サヤコマチ」および「三芳錦」、黒大豆の「黒船」と「いわいくろ」の評価が複数箇所共通で評価が高かった。

表 1 試験場所、播種期および供試品種数

試験場所	所在地	平成 19 年		平成 20 年	
		播種期 (月/日)	供試数	播種期 (月/日)	供試数
十勝農業試験場(標準播き)	河西郡芽室町新生南 9 線 2 番地	5/22	22	5/27	23
〃 (遅播き)		6/ 5	6	—	—
幌加内町農業技術センター	雨竜郡幌加内町字幌加内	6/ 5	17	6/ 4	9
士幌町農業試験センター	河東郡士幌町西 2 線 159	5/15	13	5/16	16
美幌町みらい農業センター	網走郡美幌町字美富 29 番地	—	—	5/30	13
弟子屈町農林課	川上郡弟子屈町中央 2-3-1	—	—	5/27	9
せたな町農業センター	久遠郡せたな町北檜山区二俣 55	—	—	5/30	10

表 2 えだまめ試験成績の総括表(十勝農試)

品種名	種類	枝豆 適期 (月/日)	早晩性	倒伏 程度	最下着莢 位置(cm)	規格内 収量 (kg/10a)	規格内 百莢重 (g)	指数評価					
								出芽 良否	耐倒 伏性	着莢 高	収量 性	食味 A	食味 B
サッポロミドリ	普通	8/24	早	0.0	8.2	518	243	3	3	3	3	3	3
青森みどり	普通	8/28	早中	0.0	7.3	541	251	3	3	3	3	3	3
ピアフレンド	普通	8/28	早中	0.0	7.7	550	240	3	3	3	4	3	3
涼翠	普通	8/29	早中	1.9	11.2	849	268	2	2	4	5	3	3
げんき娘	茶豆風	8/31	早中	0.0	5.8	799	344	3	3	2	5	3	3
黒玉すだれ	黒豆	9/ 1	早中	2.5	10.5	973	234	3	1	4	5	3	3
ASB-03	普通	9/ 3	中	0.3	15.0	1,009	315	3	3	4	3	3	3
栄 錦	普通	9/ 4	中	2.0	12.3	870	321	3	2	4	2	3	3
サヤコマチ	普通	9/ 5	中	0.4	15.5	987	324	3	3	4	3	3	4
大袖の舞	普通	9/ 5	中	0.0	9.8	976	240	3	3	3	3	3	3
黒船	黒豆	9/ 6	中	2.0	14.2	970	268	3	2	4	3	3	3
酒の友	普通	9/ 6	中	0.5	14.6	1,127	333	3	3	4	5	3	3
おおさやみどり	普通	9/ 8	中晩	1.2	16.6	1025	346	3	2	4	3	3	3
三芳錦	普通	9/ 9	中晩	0.3	14.7	1,147	344	3	3	4	5	3	3
恋姫	茶豆風	9/ 9	中晩	2.8	20.1	1,075	335	3	1	5	4	4	4
玉のれん	普通	9/11	晩	0.0	6.8	856	376	3	4	1	2	3	3
いわいくろ	黒豆	9/12	晩	0.5	16.2	921	372	3	3	3	3	3	3
タマフクラ	普通	9/13	晩	0.2	18.7	658	406	3	4	3	1	3	3
湯あがり娘	茶豆風	9/15	極晩	1.9	22.9	955	294	3	2	4	3	4	4
茶香り	茶豆	(9/18)	極晩	2.5	26.2	916	275	2	1	5	3	3	4

注 1) 供試品種を早晩性で 6 区分に分類表示。

注 2) 種類は、供試育成会社からの情報による分類で、普通は一般大豆、茶豆風は茶豆風味有り、黒豆は黒大豆を示す。

注 3) 枝豆適期は、十分に肥大した莢が全体の 70%に達した日を示す。()は単年度の値を示す。

注 4) 早晩性は、「サッポロミドリ」を早生、「大袖の舞」を中生、「いわいくろ」を晩生の標準とし、それぞれの枝豆適期から前後 2 日以内は同じ早晩性、前後 3 日以上は前後する早晩性の中間として判別した。

注 5) 規格内は、2 粒莢以上の合計値。

注 6) 指数評価は、早～早中群は「サッポロミドリ」、中～中晩群は「大袖の舞」、晩～極晩群は「いわいくろ」を標準品種(基準 3)とする相対評価(1 劣る、3 中、5 優れる)。また、食味 A は収穫直後(試験担当者 1 名)、食味 B は十勝農試冷凍保存品(パネリスト 27 名)による 2 年累年での指数評価(1 劣る、3 中、5 優れる)を示す。

4. 成果の活用面と留意点

1) 露地直播栽培えだまめの品種選択のための資料とする。

5. 残された問題とその対応

1) 耐冷性と病害虫抵抗性に優れた北海道向き露地直播栽培用えだまめ品種・系統の検討

2) 冷凍加工向けえだまめ品種の食味評価に関する調査手法の検討